

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:4年1月4日

事業所名 白山台放課後等デイサービスみゆ〜みゆ〜

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	・可能な範囲で小集団での活動などで対策しています。	・コロナ禍になり、スペース確保が新たに必要とされてきている。密にならないよう心掛けています。
	2	職員の配置数は適切である	9	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0	・既存の建物であるため適切です。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0		・完ぺきではない。全スタッフが関わるよう努力していきたいです。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	・ホームページだけではなく事業所内・そして保護者へ配布しています。	・ただ自己評価をするだけではなく可能な範囲で、改善すべきところは行っていきたいです。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	7		・経費という面で実施していません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0		・福祉に携わるといっただけではなく社会人としての資質向上をすべく研修は続けていきたいです ・コロナ禍により、外部は中々難しいですが、内部で実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	・低学年・高学年・中高生で分けて、アセスメントシートを行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	3		・チームでの立案には至っていない。今後は改善すべき点と思います。 ・チームということで固定はしていませんが、必要に応じて職員間で意見交換検討をしています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1	・担当が主となって行っている。固定化しないよう他のスタッフからの意見も取り入れながら行っています。	・担当が行うことで、どうしても主観的なプログラムになることは考えられます。見方の違い、関り方も違うという面での課題はあるが学校卒業後、同じ人、全く同じ関わり方は難しいと思われれます。そうしたことも踏まえながらの対応が出来ればと思っています。 ・固定化してしまう事もあります。コロナで厳しい面もありますが、色々取り入れたいです。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1	平日・休日で区別し、長い時間の活動、短時間の活動を設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	個別から集団、また子どもの状況を見ながら計画しています。	・どうしても集団参加が難しいお子様もいらっしゃいます。段階を踏んで参加出来るように我々も工夫・努力していきたいと思ひます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	・朝礼及び昼礼を実施し、その日の支援状況の確認を行っています。	・朝礼などを実施確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	4	・打ち合わせという形ではないですが、世間話的に出ています。 ・業務日誌に記入し、皆で閲覧しています。	・全くしていないわけではないが、打ち合わせはしていません。その日の特記事項、課題について雑談の中で話をしています。 ・職員間で必要案件は報告はあっていますが、打ち合わせの形ではないため、今後実施していきたいです。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	・毎日の支援内容について記録しています。それを全スタッフで共有、保護者様からも確認して頂いています。	
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	・提起的に実施しています。	・偏った見方ではなく、総合的見方を図ってきたいです。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	0		・コロナ禍ということもあり、活動内容に限界を感じています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	・児童発達支援管理責任者だけでなく、担当者にも参画してもらっています。	・今後は、こうした機会に多くのスタッフに参画してもらい、学びとって欲しい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	・保護者様からの連絡により行っています。直接学校からの連絡もあります。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	5		・現状出来ていません。 ・医療的ケア児を受け入れる体制、環境設備が整っていないので、今後検討の必要性はあります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	4	・相談支援専門員を介して情報の共有を図っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	0		・放課後等デイサービス利用時の様子、活動や課題に取り組んできた中での課題点について、情報提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	7		・なかなか出来ていない状況です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	8		・コロナ禍ということで、こうした機会も作れないです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	7		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	・連絡帳や支援記録を通じて行っています。	・連絡帳、送迎時、電話等でやりとりを密に行い共通理解をしています。 ・連絡ノートを通したり、保護者の送迎で来所した際や必要に応じては電話にて伝えていきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	7		・非常に必要なことは理解していますが、現状出来ていません。 ・コロナ感染防止、ペアレント・トレーニングは難しいが状況にあわせ支援を実施しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	・変更のある場合は、その都度お知らせしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0		・相談は受けていますが、果たして適切な助言になっているか支援者として常に不安を感じています。もっともっと勉強・研修が必要と感じています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	8		・前回同様、当所の課題としてあげられますがコロナの状況により開催できずにいます。 ・コロナ感染防止のため、難しいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	・苦情に関して、即対応するよう心掛けています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	2		・改めて会報等は発行していません。毎日の支援記録に写真も掲載しながら発信しています。 ・会報ではないですが、随時行事予定は手紙等で周知しています。
	35	個人情報に十分注意している	9	0	・公共の場への名前・写真掲載時には保護者様からの確認をとるようにしています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	6	・一般開放として放課後等デイサービスの利用に支障のない時間にスヌーズレンを開放しています。 ・個別で町内のゴミ拾い、子ども達の作品のプレゼントなどを行っています。	・現状コロナ禍ということもありますが、地域住民を招待するには至っていません。 ・コロナ感染防止のため、現状難しいと思います。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	・年間計画を立てて、毎月1回は避難訓練を実施しています。(火災・地震・不審者対応)	・様々な災害を想定し、事業所内外(送迎時等)どちらの訓練も実施しています。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0		・なかなか研修もままならなかったため、虐待防止委員会を設置。研修や日々の対応について実施しているところです。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	1	・万一、道路上で行動を停止した時などを考慮し全利用者から令和2年度に同意書にサインを頂いています。	・身体拘束は行っていません。 ・現在拘束を行う必要がある利用児はいます。必要に応じて対応する準備はあります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	2	・保護者様からの要望があれば取り除くようにしています。	・そのときの体調や、心の状態によりアレルギー反応が出ていることを受け、改めて全利用者から食物アレルギーに関するアンケートをとっています。 ・現在アレルギーの対象児はいませんが、確認等を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1		・事例集の作成をし共有。今後の課題としては、これをもとに検討の必要性があると感じています。